

青谷町総合支所「鳥取市新市域振興ビジョン」推進計画 進捗チェック状況

項目名	事業概要	目標【基本計画・施策】	推進期間			短期(～29年度)における総括	中期(～令和元年度)における総括			R2年度					R3年度					備考	担当課		
			短期	中期	長期		成果(何をどれだけ)	成果(何をどれだけ)	次年度以降への課題・方向性	実施内容	予算額(千円)	決算額(千円)	目標達成度	事業の方向性	実施内容	予算額(千円)	決算額(千円)	目標達成度	事業の方向性				
			～29年度	～R元年度	～R5年度																		
②地域資源の有効活用による、魅力あるまちづくり	歴史的資源等を磨き上げ交流人口を増加 【文化財の整備・保存・活用】 【文化芸術によるまちづくりの推進】 【滞在型観光の推進】	○ジオ関連ガイドの養成 ○ガイド団体の設立	○ガイド団体が中心となって、青谷町内のジオサイトや歴史文化を案内できるガイドの養成を図る。 ○観光ガイド体制の確立及び観光ガイドコースの設定	○ガイド団体の育成 ○観光ガイド体制の確立及び観光ガイドコースの設定	・ガイド団体の設立はできた。	青谷町ガイドネットワークと観光事業マッチング等により、ガイドネットワークの役割を確立し、継続した団体育成につなげることができた。	・引き続き、青谷町ガイドネットワークへの情報提供やガイド活動の活性化について支援を行う。 ・観光ガイドコースの設定。	・青谷町ガイドネットワークへの情報提供やガイド活動の活性化について支援を行う。 10/18 日置谷地区ふるさとウォーキング	—	—	C未達	3.現状維持	観光ガイド体制を確立するため、青谷上寺地遺跡ボランティア講座受講生の人材活用、青谷町ガイドネットワーク等関係団体と連携しながら、ガイドの育成を図る。 ・観光ガイド体制の確立及び観光ガイドコースの設定 青谷町ガイドネットワークが青谷町歴史探訪ガイドコース(7コース)を設定し実施検討中 11/13 青谷町ガイドネットワークによる青谷地区地域探訪実施予定	—	—	—	—	—	—	観光・ジオパーク推進課 青谷町総合支所			
			○青谷上寺地遺跡保存管理計画・整備活用基本計画に基づいた整備	○青谷上寺地遺跡保存管理計画・整備活用基本計画に基づいた整備 ○青谷上寺地史跡公園の運営協力団体の育成	青谷上寺地遺跡保存活用協議会への支援が主な活動であったが、活動内容がマンネリ化し、参加者や協力者が増える状況ではなかった。	・青谷上寺地遺跡保存活用協議会への参画 ・H30年度およびR元年度に青谷上寺地遺跡ボランティア講座を実施し、青谷上寺地遺跡応援団の人材育成を進め、講座を修了したガイド候補者の増を図った。 H30年度：11人 令和元年度：14人	・R2年度から青谷上寺地遺跡の史跡整備工事着手されるにあたり、青谷上寺地遺跡保存活用協議会への支援を行い、連携する。 ・青谷上寺地遺跡ボランティア講座については、R2年度が最終年度だが、人材育成については「青谷上寺地遺跡を学ぶ会」「青谷上寺地遺跡友の会」とも連携し、R3年度以降も継続する方向で働きかけて行く。	○青谷上寺地遺跡管理事業 ・青谷上寺地遺跡史跡内除草委託 ・青谷上寺地遺跡保存活用協議会への支援 ○青谷上寺地遺跡ボランティア講座 青谷上寺地遺跡ボランティア講座を実施(最終年度)。 9回開催 受講生14人	3826	2755	B.概ね達成	5.休止、終了	—	—	—	—	—	—	—	文化財課 青谷町総合支所			
			○情報板等の検討・整備 ○地域の歴史認識、地域への愛着を深めるための修景の検討・整備	○地域の歴史認識、地域への愛着を深めるための修景の検討・整備	○史跡、文化財、自然等地域の素材を活かし、歴史認識、地域への愛着を深める	JR青谷駅前整備に合わせ、観光案内板等の設置を検討した。	JR青谷駅前観光案内板移設整備を完了 ・バス待合所を活用した観光情報提供等の取組により地域情報に触れる場づくりの拡充を図れた。	整備完了	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	都市企画課 観光・ジオパーク推進課 青谷町総合支所	
②青谷高校と連携した鳥取西いなばまちづくり会社活動支援	賑わい創出と地域経済の活性化、交流人口の拡大 【商業とサービス業等の振興】	○「西いなばの逸品」商品開発					ウオーキングコースに、海岸の景色や神社等を組み込み、青谷町内、県内、県外の参加者に青谷町の魅力をPRした。 ●地域の歴史資源に接するイベントにより、参加者を通じた青谷の魅力発信取組を創出した。	青谷町内からの参加だけではなく、市外、県外からの参加者も多いため、歴史や自然に触れることができ、地域のことを知っていただく効果がある。青谷の魅力を発信できるウオーキングコースの検討。	・あおいちウオーキング・こばしまウオーキング(勝部地区)は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	—	—	C未達	3.現状維持	—	—	—	—	—	—	—	観光・ジオパーク推進課 文化財課 青谷町総合支所		
																						青谷町総合支所	
③安心・安全なまちづくり	自主防災組織の充実と連携 【地域防災力の向上】 避難行動要支援者支援制度への登録啓発(新規登録、追加登録の促進) 【地域防災力の向上】 ひとり暮らしの高齢者世帯へ「安心ホットライン」設置啓発 【地域包括ケアの推進】 【超高齢社会に向けたまちづくりの推進】 高齢者・障がい者等を地域で見守り支え合うネットワークづくり 【地域包括ケアの推進】 【超高齢社会に向けたまちづくりの推進】	○自主防災組織の体制整備・連携 ○自主防災組織の体制整備 ○自主防災組織訓練の高度化の検討	○自主防災組織の体制整備	○自主防災組織の体制整備 ○自主防災組織訓練の高度化	・自主防災組織の資機材整備補助事業を活用して資機材の充実を図ることができた。 ・訓練実施の自主防災組織数が増えた。	資機材の整備と住民への意識啓発の取組により、防災意識の充実と自治会の組織強化につなげた。 鳥取市自主防災会地域防災力強化補助金 R2年3月末現在11団体利用。	訓練を実施している自主防災組織は多いが、ほぼ消火訓練であり、地震や水害の場合に対応した訓練の促進。	・自主防災組織の訓練促進 鳥取市自主防災会連合会活動助成事業 24団体利用 鳥取市自主防災会連合会地区防災訓練助成事業 4団体利用 ・鳥取市自主防災会地域防災力強化補助金等の周知と利活用推進 鳥取市自主防災会地域防災力強化補助金 20 団体利用	480 105 1170	B.概ね達成	3.現状維持	青谷町自治連合会研修会等において、各種助成制度を周知し、自主防災会組織の訓練促進を図る。 10/7青谷町自治連合会役員会において鳥取市がまち防災支援補助金制度の周知を図った。 各地区自主防災会等で避難所開設等の訓練・研修を実施	—	—	—	—	—	—	—	—	—	危機管理課 青谷町総合支所	
			○制度の啓発及び地域との連携	○制度の啓発と本事業における地域の役割について地域の理解を深める。	○制度の主旨、地域の役割等について周知を図り、登録を促進する。	登録者数408名	新規登録者数 H30年度：13人 R元年度：12人	まちづくり協議会等と連携しながら協働のまちづくりを進めるとともに、機会を捉えながら、より一層の周知、登録勧奨等を行う。	・青谷町自治連合会研修会(R3.2)、民生児童委員協議会定例会(R2.8)等の機会を捉えて制度周知と登録勧奨依頼 ・啓発チラシ(窓口用、説明会・研修会用)の作成・配付 ≪参考≫令和2年度未登録者数：346人	—	B.概ね達成	3.現状維持	・青谷町自治連合会研修会(R04.02予定)、民生児童委員協議会定例会(R03.10)等の機会を捉えて制度周知と登録勧奨依頼 ・各地区座談会、いきいきサロン等の機会を捉え、制度周知と登録促進 ・啓発チラシの作成・配付	—	—	—	—	—	—	危機管理課 地域福祉課 青谷町総合支所			
			○地域と連携しつつ、避難行動要支援制度と合わせて本事業の周知を図る。	○地域と連携しつつ、避難行動要支援制度と合わせて本事業の周知を図る。	○地域と連携しつつ、避難行動要支援制度と合わせて本事業の周知を図る。	○地域と連携しつつ、避難行動要支援制度と合わせて本事業の周知を図る。	利用者数31名	新規設置者数 H30年度：2人 R元年度：1人	機会を捉えながら、より一層の周知、設置勧奨等を行う。	・青谷町自治連合会研修会(R3.2)、民生児童委員協議会定例会(R2.4)等の機会を捉えて制度周知と設置勧奨依頼 ・窓口に掲載の見本を設置。 ≪参考≫令和2年度未設置者数：28人	—	B.概ね達成	3.現状維持	・青谷町自治連合会研修会(R04.02予定)、民生児童委員協議会定例会(R03.06文書周知)等の機会を捉えて制度周知と設置勧奨依頼 ・各地区座談会等の機会を捉え、制度周知と設置促進	—	—	—	—	—	—	—	危機管理課 長寿社会課 青谷町総合支所	
			○青谷町住民の健康・福祉の現状について、地域住民の理解を深め、改善のための気づきを促す。	○青谷町住民の健康・福祉の現状について、地域住民の理解を深め、改善のための気づきを促す。	○青谷町住民に、健康・福祉の充実の必要性を伝えることとともに、地域住民と協働してできることを話し合い、地域支援の必要性について感じてもらえた。	・健康教育(グループワーク含む)【6回】を実施し、健康に対する意識づくりを図ることができた。 ・青谷地域振興会議においても、青谷地域の現状を共有し、地域支援の必要性について感じてもらえた。	地域住民が主体となって、2つの居場所づくりに着手		地域福祉力向上の必要性を機会を捉えながら訴えていくとともに、地域住民・まちづくり協議会等と一緒に進めていくことができることから取り組む。	・ネットワーク構築の土壌づくりとして、民生委員や福祉事業所等との連携強化、地域住民を対象として健康教育等を実施 ・昨年度着手した地域住民主体の2つの居場所が本格的に運営されるよう支援	—	B.概ね達成	3.現状維持	・ネットワーク構築の土壌づくりとして、民生委員や福祉事業所等との連携強化、地域住民を対象として健康教育等を実施 ・精神障がい者や引きこもりの方等の居場所づくりへの助言・今後の展開について検討等 ・子育て中の親と子の居場所づくりについて地域住民と一緒に進めて検討等	—	—	—	—	—	—	—	—	青谷町総合支所 西地域包括支援センター
②地域・住民と協働し生活交通の維持確保を図る	持続可能な生活交通の維持確保 【公共交通の確保】 【交通ネットワークの充実】	○青谷町地域における生活交通の維持確保				持続可能な生活交通のあり方を行政と地域・住民が協働して検討していく必要があるため、R元年度から、町内の団体や地域の会議等で情報提供を行った。 交通政策課が「鳥取市生活交通創生ビジョン」を策定。	青谷地域は、将来路線バスが存続できなくなる可能性が高いため、今から地域の実情に合った持続可能な生活交通のあり方を地域や住民と協働して検討していく。	・青谷地域生活交通協議会を7月に設置、9月、1月、3月の3回開催。 ・青谷地域における生活交通に関するアンケート調査を8月～9月に実施。 ・地域住民等への情報提供として、各地区の座談会や自治連の会議等で公共交通について説明、周知を行った。	—	—	A.達成	2.改善継続	—	—	—	—	—	—	—	—	交通政策課 青谷町総合支所		
																							財政経営課 青谷町総合支所
④まちづくりを支える自立した自治体経営	①公共施設の利活用 【魅力ある中山間地域の振興】	青谷上寺地遺跡展示館の利活用 旧青谷町商工会館の利活用 【魅力ある中山間地域の振興】																					